

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： エージェント技術に基づく大規模合意形成支援システムの創成

2. 研究代表者： 伊藤 孝行（名古屋工業大学大学院工学研究科 教授）

3. 中間評価結果

実空間での議論とサイバー空間の SNS を用いた議論を併用することで、マルチエージェントによる大規模な合意形成を実現する知的情報処理システムの社会実装を最終目標とする。実空間での参加者の議論だけでなく、オンライン議論システムでの議論が見える化する技術などのコア技術を開発し、中間目標を達成した。具体的には、合意最適化エージェントを実現する上で重要なコア技術として、「議論の見える化」機能、「炎上予測機能」、「エージェントの問いかけ・議論介入」機能について開発し、クラウド合意形成支援プロトタイプシステムをこれらのコア技術を実装して構築している。特に、「議論の見える化」機能における「議論の論理構造の自動抽出」機能については、目標値以上の構造抽出精度を達成している。エージェントの問いかけ自体、議論の閲覧と介入に深く関係するため、倫理的・法的・社会的課題（ELSI）について検討する委員会を創り、社会が受け容れるシステムとは何かについても議論している。本システムを用いて、名古屋市と連携し、100 人規模の社会実験を行いその有効性を示すことができた。最終目標達成にむけて、中間目標までに開発したコア技術を深化させるとともに、データベースの英語化による国際展開に期待したい。